

2学期に実施した学校教育活動に関するアンケート調査の結果をご報告します。昨年の調査と同じものは比較できるグラフにしました。～までは町内で統一された調査です。

2月4日に富貴小学校関係者評価委員会に結果を報告し、来年度に向けて助言をいただきました。2月24日には町の学校評価委員会が開かれ、町全体にも結果について報告しました。後日発行される広報「たけとよ」にも掲載されますのでそちらもご覧ください。今後とも本校へのご支援をよろしくお願いいたします。

A よくあてはまる

B どちらかというにあてはまる

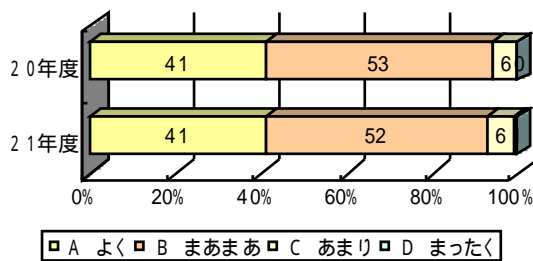
H.21.12.9 実施

C どちらかというにあてはまらない

D まったくあてはまらない

回答数 502人

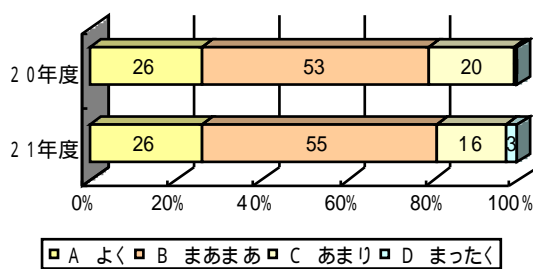
基礎的な学習の充実



昨年度と同じように、93%の方から肯定的な評価をいただきました。算数の時間を中心に行っている、複数の教師による授業で、子どものつまずきを減らすよう工夫しています。漢字大会と計算大会には家族の励ましを受けて、子どもたちはよくがんばりました。

今後も、一人一人の子どもたちを丁寧に指導することで、基礎的な学習が身に付くように、工夫していきます。

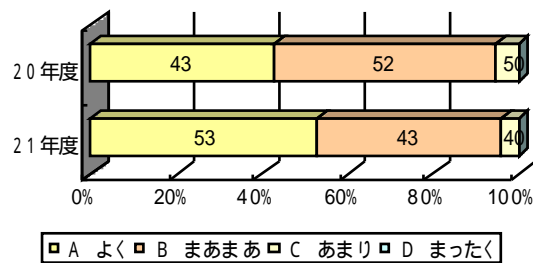
「命の大切さ」についての指導



昨年度とほぼ同じで、81%の方から肯定的な評価をいただきました。「いのちの教育講演会」で、子どもたちは、健康であることの幸せに気づき、今を大切に生きることと友達を大切にすることを学びました。

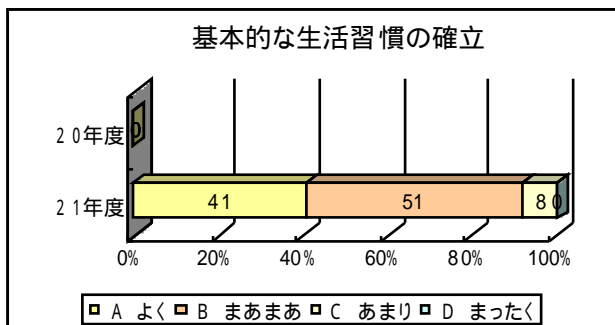
命の大切さについては、学校のあらゆる場面で指導していきます。また、講演会の講師さんのその後の活躍を話題にして、考えをさらに深められるようにします。

「思いやりの心」の育成



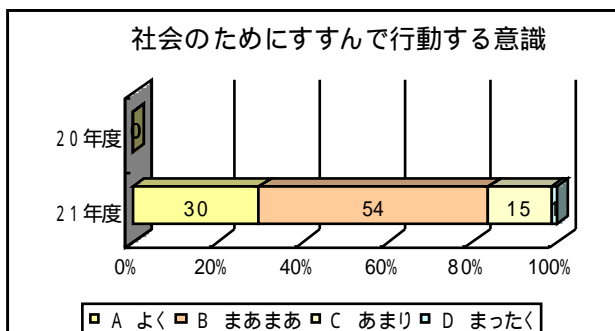
18年度からAの割合が増え続け、ついに半分を超えました。各学級で、互いの良さを認め合う機会をつくってきたことで、居心地のよい学級になっているのではないかと考えます。ペットボトルのキャップ集めも、協力者がどんどん増えてきました。

今後も、たてわりグループ遊びや学級の仲間づくりを通して、相手を思いやれる子どもたちを育てよう、継続して指導していきます。



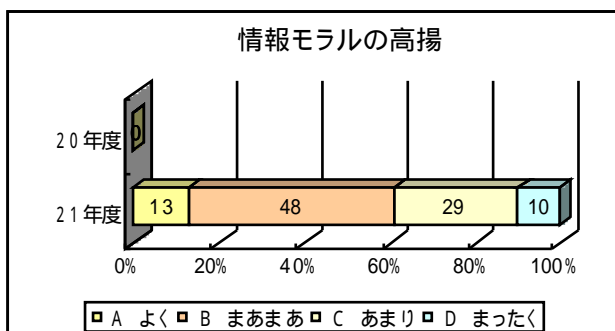
今年初めての設問です。92 %の方から肯定的な評価をいただきました。すこやかカードで生活を振り返ることや、保護者の皆様からの励ましの言葉は、子どもの意識を高めるのに効果があります。

今後もすこやかカードなどで、「早寝・早起き・朝ごはん」を指導していきます。ご協力をお願いします。



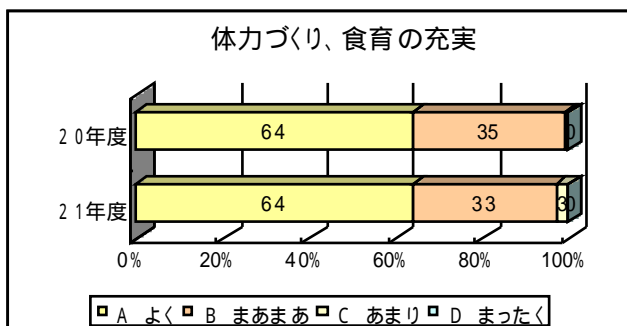
今年初めての設問です。学校の集団生活の中では、掃除当番や給食当番、係活動など、周りの人のために行動できることはたくさんあります。こうした活動を通して、学年に応じたボランティアの精神を育てたいと思います。

学校でも家庭でも、仕事ができたとをきちんと認めて誉めることで、子どもの気持ちを高めていけたらと考えています。ご協力をお願いします。



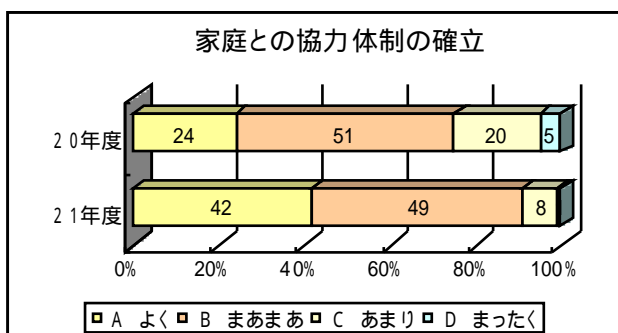
今年初めての設問です。学年に応じた内容で指導を重ね、これからの社会に対応できる子どもたちを育てたいと考えます。そのために、教師がもっと研修を深める必要があります。

道徳の時間や情報の時間で、確実に指導していきます。内容を保護者の皆様にお伝えしていきます。



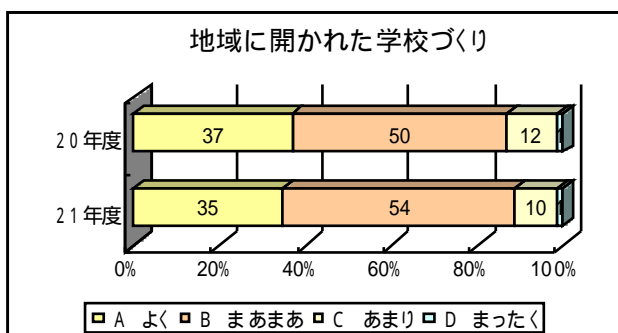
今年度もほぼ 100 %の方から肯定的な評価をいただきました。栄養教諭も2年目を迎え、食の指導もますます充実しています。なわとび運動・マラソン運動、大放課の外遊びの奨励による、子どもたちの体力づくりも継続しています。

今後も継続して指導します。



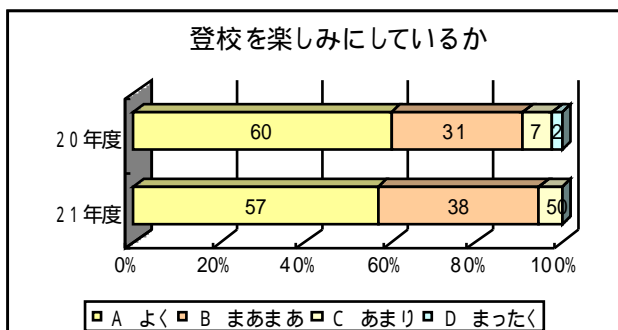
学校と家庭の信頼関係を問う設問です。昨年までは「相談しやすいか」という聞き方でした。今年は「家庭と協力しているか」を聞きましたので、そのまま比較はできません。91%の方から肯定的な評価をいただいたのは、ありがたいことです。

子どもの良いところを積極的にお伝えし、学校と家庭がともに協力して指導にあたっていきたいと考えています。



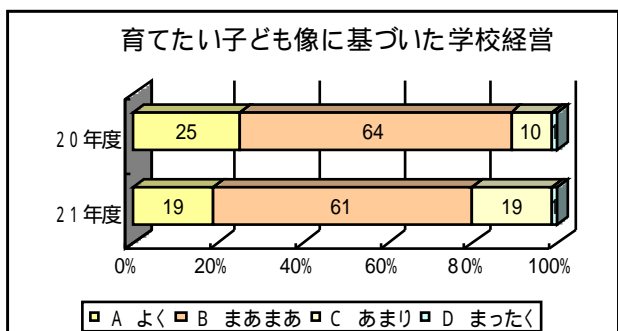
各学年で、地域の方々にいろいろ教えていただきました。運動会や学習発表会には老人会の方にも招待状を届けています。学校通信・ホームページなどで、子どもたちの様子も発信してきました。

今後も地域とのつながりを意識し、タイムリーな情報発信を継続していきます。



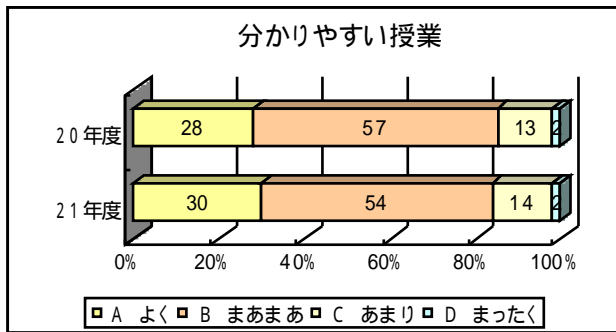
学校が楽しくないと感じている子どもが、昨年度より約20人減りました。学校生活の中に楽しさを見出し、ほとんどの子どもが学校へ行くのを楽しみにしています。うれしいことです。

学校は楽しいと思えるように、今後も気持ちの良い学級をつくっていきます。



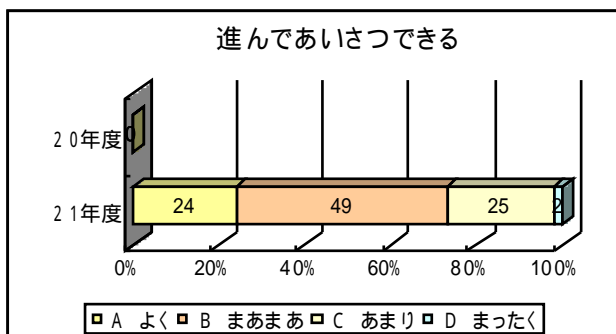
残念ながら、否定的な評価が増えました。「自ら考え、自ら行動できるとともに、思いやりの心をもつ子」を育てるには、まだ不十分という結果でした。

今後育てたい子ども像を意識して、全校体制で取り組みを進め、保護者に伝わるように情報発信していきます。



昨年度とほぼ同じ結果となりました。Aが増えたことは、担任の工夫の成果だと思えます。Cが1%増加したことは、今後の課題です。

学年内での情報交換や授業研究などを通して、分かりやすい授業をめざし、全校で取り組んでいきます。



27%の方が否定的な評価でした。学校でのあいさつ運動では、よくあいさつできて、立ち当番の方にはあいさつできていないようです。

いつでもどこでも、進んであいさつできるよう、学校でも指導をしていきます。ご家庭でも、気持ちの良いあいさつのお手本をみせてやってください。

[皆様からのご意見の一部と今後の方針]

- ・ 交通立ち番のとき、あいさつしてくれるのは一部の児童だけで、下を向いて歩いている子も見かけます。我が子にもあいさつするように言っているのですが、なかなかできません。家庭と学校とが協力して改善できたらと思います。
- ・ 立ち当番をしていて、こちらがおはようと声をかけても、知らん顔をする子がいます。いろいろ問題もあるかと思いますが、集団登校しているときは、進んで地域の人にあいさつができるといいなと思います。

今年もたくさんの方から、朝のあいさつができていないという声をいただきました。2月24日の町の学校評価委員会では、町内の各学校から、同じようにあいさつができていないことが報告されました。会の中で話し合われた結果、どう考えると良いか、一つの答が示されました。

「あいさつができないという保護者の意見があったが、子どもの方から考えると、あいさつされてずっと応えるのは、難しいこともある。大人は、子どもはあいさつができて当たり前と考えてはいけないと思う。たとえ子どもからあいさつが返ってこなくても、大人はにこにこして、あいさつをし続けていくことが大切だと思う。あいさつしないとだめだとは言わないで、自分から声をかけてあいさつをしていきたい。」

学校と家庭と地域が協力し合って、地道に気長に指導を続けていくことが大切だと思います。ご協力をお願いします。

- ・担任の先生によって、対応や授業の進め方が大きく違う印象があるので、そういう差が無くなるようにしてほしい。
- ・クラスによって、授業やドリルの進み方に差がありすぎる。宿題の量はある程度統一してほしい。

小学校は、担任が学級を作っていくのが基本なので、どうしても担任独自のやり方が強く出てしまいます。それに、今後、若い先生が増えてきます。保護者の皆様が不安に思うほどの差が出ないように、学年での打合せを細かく行ったり、学年全体の指導を機会をもったりして、できるだけ足並みをそろえていきたいと考えています。

- ・平気で友達を傷つける子がいます。悪口を言ったり、無視をしたりと、いろいろあります。今、家庭だけでは、してはいけないことを教えても、子どもたちはききません。家庭と学校で協力しながら、人を傷つけることはいけないことだと、教えていくべきと思います。
- ・普段から気になることがあります。子どもたちの言葉づかいです。平気で汚いことばを遣い、びっくりすることがあります。私の家では、言葉づかいが悪いと、すぐ言い直させたり、社会に出たとき、自分が困ると言い聞かせています。今は、平気で汚い言葉を遣い、周りの人たちを傷つけていることに気付いていません。先生方もたいへんだと思いますが、なぜ、言葉づかいが悪いといけないか、少々でもいいので、子どもたちに教えてほしいと思います。

学校でも、気持ちのいい言葉とそうでない言葉について、学年に応じて指導をしています。なかでも友達を傷つけるような言葉については、その都度考えさせ、指導を繰り返しています。公的な場面と私的な場面で言葉が変わるのは当然ですが、場面や相手にふさわしい言葉づかいを今後も指導していきます。ご家庭でもよろしくお願いします。

- ・3学期の終わりにも個人懇談会があった方が良くと思います。次の学年に向けて、親も取り組む姿勢が違ってくるのではないのでしょうか。

4人の方からのご意見です。町内の学校でも、3学期に懇談会のある学校と無い学校があります。授業時間の確保の面から、すぐに変えることが難しいのが現状です。ご理解いただけるとありがたいです。

- ・たまたま、遊びに行った先で、富貴小の6年生の女の子に会いました。しぜんと一緒に遊んでくれたり、助けてくれたりと面倒をみてくれていました。すごくうれしかったです。学校の中だけでなく、外でもできるなんて、素晴らしいと思います。これからも、学校での子どもどうしのつながりを深くして行ってほしいです。

たいへんうれしい言葉でした。子どものよくない部分を、学校が家庭のせいにしたたり、家庭が学校のせいにしたたりしたら、子どもがよくなるわけがありません。子どもの良さを見つけて、互いの指導を認め合うことから、信頼が生まれると思います。この方のように、子どもの良いところに気付いて知らせてくださることが、ありがたいです。元気が出ました。

このほかにも様々なご意見がありました。来年度の学校運営に生かしていきます。ありがとうございました。